

2025年度 教育予算の拡充にむけて

日本教職員組合



審議のまとめに関わる予算措置

○学校における働き方改革の更なる加速化

- ・ 小学校中学年教科担任制を推進するための教職員定数の改善
- ・ 中学校の生徒指導担当教員の全校配置
- ・ 3分類に基づく業務適正化の徹底と国の支援

○教師の処遇改善

- ・ 教職調整額の率の引き上げ（少なくとも10%以上）

○学校の指導・運営体制の充実

- ・ 養護教諭、栄養教諭、事務職員の配置充実
- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員、教員業務支援員等の支援スタッフの配置充実



物価高騰の影響

学校現場の実情－栄養教職員・事務職員への聞き取りから（１）

学校給食は...

- ・鶏もも肉でも1,700円/kgになり使えないので、量を減らして大豆などでたんぱく質を確保しています。
- ・ロールパンしか使えません。食パンとジャムや、黒糖パンなどのパンは金額的に使えません。
- ・りんご・ブドウ・いちご・みかんなど旬のフルーツが、自治体の原案に入っても使えません...
食育上也に困ります。
- ・フルーツ缶詰は安全上、国産を使いたいが、輸入品ばかりになっています。
- ・主菜になる肉や魚、卵のサイズを一回り小さいものに変更しています。

施設は...

- ・光熱費の高騰（電気代428万円→472万円など）に対して教育委員会で予算を確保するために、学校への予算配当が不十分になっています。
- ・大規模修繕（工事）なども物価の高騰で、当初計画していた予算を遥かにオーバーし、競争入札をかけても業者が決まらず、工期の遅れや、内容の見直しがされています。
- ・材料価格の高騰により工事も高くなっているため、校舎の修繕ができません。

物価高騰の影響

学校現場の実情－栄養教職員・事務職員への聞き取りから（２）

教材は...

- ・ 小学校の教科書改訂にあたり、**教員用の教科書**（デジタル教科書含む）購入に前回改定より**数十万円～百万円ほど多く経費**がかかりました。
- ・ **教材**購入の配当予算は変わっておらず高騰している物価に追いついていないため、体育用品（ボールなど）など教材によっては昨年度の倍近い値上がりをしていて、**購入数を減らさざるを得ません**。
- ・ **ノート・文房具**も軒並み値上げされているため、学校購入以外の**保護者負担額も増えています**。

行事は...

- ・ **キャンプ**に係る経費が増加しています。（22年度→23年度 キャンプファイヤー費：35,400円→37,350円、登山ガイド費：1人20,000円→1人30,000円など）
例年、安全を考慮して登山ガイドを各クラス1人配置していましたが、今年度は**安全のための登山ガイドの人数を減らすこと**などを検討しています。
- ・ **卒業式や入学式**で飾る花が30～40%値上げとなったため、**量や質を下げて対応**することになりました。

令和6年能登半島地震への対応

学校現場の実情－現地・ボランティアから

- ・部活の生徒のため目一杯時間を使い、最後にグラウンドを整備車で回りながら、崩れて丸く回れないグラウンドを使う子どもたちのことをおもうと涙が流れました。
- ・中学校1校、県立高校2校が液状化で被害を受けました。中学校では校舎が使えず、1・2年生はオンラインで、3年生は近くの小学校で間借りをして授業を受けており、4月からは全学年が小学校で生活することになりました。高校では校舎への被害や水道等が使えなくなったことから1校でオンラインを併用した学年毎の分散登校が行われました。2校とも体育館にも大きな被害があることから授業や部活動、卒業式・入学式等で使用できない状況が続いています。一日も早く安全な校舎、体育館、グラウンドで過ごせることを願っています。
- ・震災の影響で赤ちゃん返りのような状態になり、付き添いが必要な子どものケアを行いました。現場の教職員には時間的な余裕がないので、外部支援者が担うべきところだと感じました。
- ・避難所が閉鎖された後の学校の整理整頓や掃除などの手が全く足りていないこと、「災害が起こると学校現場に皺寄せが来る」ということを実感しました。